

Biogas Plant OBERNJESA



所在地:	ドイツ
建設年:	2002/2003
原料	発酵原料用草類
発酵槽	コンクリート製タンク, 680 m ³
コジェネ設備:	デュアルフューエルエンジン, 160 kW
建設費:	約 € 680.000

カッセル大学の Konrad Scheffer 教授の構想に基づくプラント。とうもろこしの茎、牧草、ビート等の草類が原料。収穫された原料はコンクリート製サイロで貯蔵されます。サイレージのプロセスを利用することにより、原料の持つエネルギー量を損なうことなく、長期間原料を保存することができます。サイロで原料を貯蔵することにより、年間を通じて発電に必要な原料を継続して供給することができます。このプラントは Goettingen, Lower Saxony 付近の Hans-Walter Körber-Harriehausen 農場に建設されました。事業資金の多くは Dr.Volker-Reimann-

Dubbers 基金から補助されています。 2003 年春に完成し、同年の 3 月から立ち上げを開始しました。

Krieg & Fischer 社責任範囲:

基本計画、許認可申請、詳細設計、施工監督、試運転立ち上げ